岩室NETWORK ネットワーク

■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82―4111内線207）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

ぼくわたしの自信作

■和納保育園　五歳児

■写真上段左から：きたむらさちえちゃん、おがわしょうへいくん、いけがみともみちゃん ■写真下段左から：ちのりさちゃん、ひらおかしおりちゃん、おがわたくやくん

発表会の舞台裏（和保）

クリスマス大集会　盛大に400名が参加

今年で11回目を迎えた「クリスマス大集会」が、約400名の親子が参加する中、先月13日村民体育館で行われました。

当日は、幻想的なキャンドルセレモニーから始まり、ゲームで楽しんだり音楽を聞いたりと、会場は終始クリスマスムードにつつまれ、最後にプレゼントをもらった子どもたちは、とてもうれしそうにはしゃいでいました。

▶楽しいゲーム

▼サンタさんからプレゼントが

わんぱく広場にサンタさん登場

サンタさんに一目会おうと、先月15日に行われた「わんぱく広場」には、70名の子どもたちが集まりました。クリスマスソングが流れる中、ツリーに飾り付けをした後、早速サンタさんをお迎えしました。

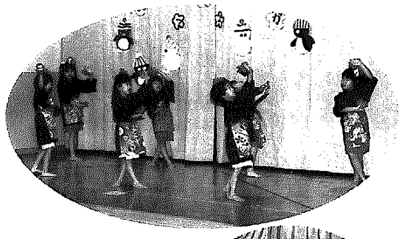
サンタさんから、お菓子と間瀬地区のお年寄りが心を込めて作ってくれた首飾りなどのプレゼントが贈られると、子どもたちは大喜び。この後用意されたケーキもおいしそうに食べていました。

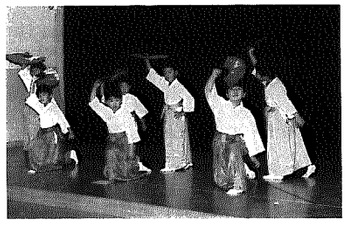
◀▶大喜びの子どもたち

ぼくわたしたちの生活発表会

園児も家族も、保母も楽しみにしている発表会。年齢に合わせ毎年いろんな出し物で楽しませてくれます。と同時に、我が子の成長を実感する場でもあるようです。

今年も、12月4・5日に、間瀬・和第二が、10・11日に和納・中央保育園でそれぞれ行われ、日頃の練習の成果を、堂々と披露しました。　＝写真＝





“おじいちゃん、おばあちゃんたくさん食べてください”
～和納小学校で、祖父母学級もちつき大会～

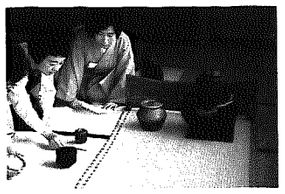
先月6日、和納小学校で祖父母学級もちつき大会が開かれました。この日を楽しみにしていたおじいちゃんおばあちゃんたちは、孫の勉強を参観した後、もちつき大会に参加しました。

大岩ＰＴＡ会長から「人間の残す食べ物が、生態系をこわしているので残さず食べるように」とおことばをいただいた後、早速もちつきに入りました。昔ながらの杵とうすを使うもちつきに、はじめて挑戦した子どもたちは、ふらつきながら悪戦苦闘。一方、おじいちゃんたちは頼もしく、その力強く杵を振る姿に子どもたちは驚いていました。＝写真左＝

つき上がったもちは、あんこもちやきな粉もちなどにされ、おじいちゃんおばあちゃんといっしょに、お口いっぱいほおばっていました。＝写真右＝

第18回村民茶会

天候に恵まれた、十一月最後の日曜日。第十八回村民茶会が開催されました。会場となった公民館は、和服姿の人など四百人の人々で、いつもと違った華やかな雰囲気が漂っており、ひとときの心のゆとりを楽しんでいました。



「冬の交通安全教室」さわやか学級生参加

11月26日、さわやか学級生（高齢者学級）50名が駐在さんを迎え、村立図書館２階視聴覚室において「冬の交通安全教室」を開催しました。学級生の中には、初めて村立図書館に入館した方も多く、そのすばらしい施設に驚いた様子で、帰り際、早速本を手にした方も多かったようです。

▼職員の説明を受ける学級生

下鳥巡査部長

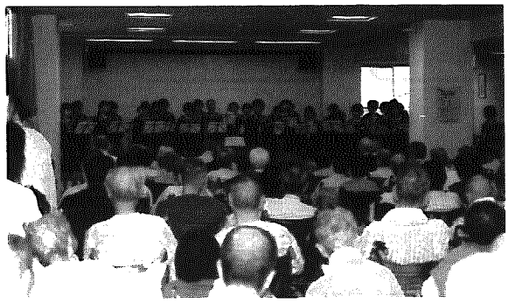
“みなさんの笑顔を見たくて来ました”
～岩中生、温泉病院を訪問～

先頃全国表彰を受けるボランティア事務局（瀬戸川純一局長）を主体とする岩室中学校生徒会員約100名が、11月18日、今年も岩室温泉病院を訪問しました。

生徒たちは、アルミ缶回収などで得たお金で購入した車椅子や、元気になるようにと一つひとつ丁寧に折った千羽鶴、心を込めて書いた手紙などを励ましの言葉とともに贈りました。

訪問の最後に、吹奏楽部の演奏に合わせ、いっしょに童謡を大合唱すると、孫を思い出し涙する患者もいました。＝写真＝

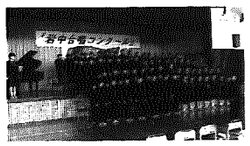
少しでも役に立てばと来年も続けられる訪問。生徒と患者の心の交流は、これからも続きます。



“笑顔でハモッて気分爽快”
～岩室中学校で合唱コンクール～

家族の皆さんにも、学校生活を知ってもらおうと行われているオープンスクール。その一環として、11月15日、岩室中で合唱コンクールが開かれ、ギャラリーを埋めた大勢の家族の前で、練習の成果を披露しました。途中設けられた先生と家族の方々が合唱するコーナーでは、普段見れない先生や親の表情を、興味深そうに眺めていた生徒の顔が印象的でした。

▼生徒も先生も親もいっしょに



「介護者のつどい」介護機器を見学

村では、現在百名程度の方が在宅で介護を受けながら生活しておられます。そこで、二ヵ月に一回『介護者のつどい』を開き、介護者の情報交換をしていますが、今回、参加者の強い要望で、十二月三日新潟ユニゾンプラザにおいて、県社会福祉協議会の介護機器を見学し、よりよい介護を目指し、学んできました。　＝写真＝